

製品名: DnaJB4 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10069

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	38kDa

抗原情報

遺伝子名	DNAJB4
別名	DNAJB4; DNAJW; HLJ1; DnaJ homolog subfamily B member 4; Heat shock 40 kDa protein 1 homolog; HSP40 homolog; Heat shock protein 40 homolog; Human liver DnaJ-like protein
遺伝子 ID	11080.0
SwissProt ID	Q9UDY4
免疫原	抗血清はヒト DNAJB4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 91-140

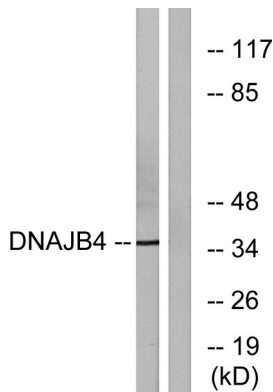
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、分子シャペロン、腫瘍抑制因子であり、熱ショックタンパク質 40 ファミリーのメン

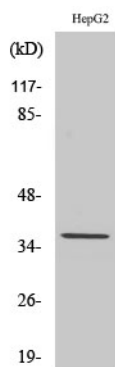
バーです。コードされるタンパク質は細胞接着タンパク質 E カドヘリンに結合し、それを細胞膜へ誘導します。また、このタンパク質は誤って折り畳まれた E カドヘリンにも結合し、小胞体関連分解を引き起こします。この遺伝子は大腸癌の強力な腫瘍抑制因子であり、そのダウンレギュレーションは患者の転帰を予測するための優れたバイオマーカーとなる可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2015 年 11 月]、誘導：熱ショックによる。類似性：1 つのドメインを含む。

研究分野

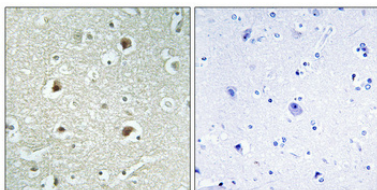
画像データ



DNAJB4 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



DnaJB4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。